

第 202 回

クラシックファンのためのコンサート

2019年 10月10日(木) 大阪倶楽部 4階 ホール 午後7時開演

三木 裕子 ピアノリサイタル



〈プログラム〉

ブラームス

ソナタ 第3番 へ短調 Op. 5

小品 Op. 118 より

第5番 ロマンズ

第6番 インテルメッツォ

第202回は三木裕子氏をお招きしてピアノリサイタルを行いました。東京藝術大学、ミュンヘン音楽大学などで学び、さらにザルツブルグ“モーツァルテウム”にて研鑽を深め、数多くのコンクールに入賞されています。教育活動にも力を注ぎ、ザルツブルグ音楽院およびインスブルック音楽院教授を経て、現在は名古屋音楽大学の客員教授です。

本日のプログラムは、三木氏が“秋に相応しい作曲家だと思う”というブラームスの作品でした。夢や希望に満ちた20歳の時に書いた「ソナタ 第3番」の若さ溢れるエネルギーと、様々な経験を経て晩年に書いた「小品 Op.118」の哀愁が見事に表現され、曲についての詳細な解説と共に奥深いブラームスの世界を堪能しました。

〈ご来場者のアンケートより〉

- ・全身からほとぼしる情感、力強いタッチ、エネルギッシュな奏者から幸せをいただきました。感動！！感動！！血管の隅々にまで喜びが運ばれていきます。ありがとうございました。
- ・ブラームス独特のやさしい、しんみりした感情が浮き出て来るのに若い頃から親しんで来た。心に伝わるブラームスを感じました。
- ・ブラームスのことを知り尽くしたピアノでした。とても素敵なコンサート、感動しました。水の流れるような引き込まれる音でした。
- ・大曲のソナタが素晴らしかった。小品のOp.118は私の愛聴曲で目の前で聴けて目頭が熱くなりました。
- ・ピアノを弾くというよりは全く一体となってしまったような不思議な心地になりました。激しさと静けさと全く吸い込まれたような感覚になりました。
- ・前回、三木さんが、「今、何の為にこの曲を弾くか」と言われた通り、今回も今の目的を明確にして弾かれていたことに尊敬します。音が本当に綺麗で楽器が歌っている！と思いました。



NPO法人クラシックファンのためのコンサート

〒550-0025 大阪市西区九条南2丁目18番16号

TEL 080-4824-4001 FAX 06-7635-8590 WEB classicfan.jp MAIL contact@classicfan.jp